

西日本新聞グループの PPP/PFI への取り組み

株式会社西日本新聞社 営業本部 安武弘子

株式会社西日本新聞社

企業理念

「わたしたちの九州 西日本新聞社は地域づくりの先頭に立ちます」

事業内容

新聞事業、デジタルメディア事業、イベント事業、物流事業、不動産事業

発行部数

朝刊349,365部(2024年7月～12月平均ABC部数)

歴史

1877(明治10)年 筑紫新聞→めざまし新聞→筑紫新報→福岡日日新聞→

1943(昭和18)年 西日本新聞社設立(福岡日日新聞と九州日報社が合併)

イベント事業の歴史

- 1916(大正5)年 九州学生武道大会開催。金鷲旗、玉竜旗のルーツ
- 1918(大正7)年 第3回九州陸上大運動会でリレーレース導入。九州一周駅伝のルーツ
- 1949(昭和24)年 西日本大濠花火大会(～2018年)
- 1952(昭和27)年 第1回九州一周駅伝競走大会(～2013年)
- 1959(昭和34)年 第1回「金鷲旗争奪高校柔道大会」「玉竜旗争奪高校剣道大会」
- 1966(昭和42)年 福岡大博覧会(西日本新聞創刊90周年)
- 1975(昭和50)年 福岡大博覧会(新幹線博多開通記念)
- 1979(昭和54)年 福岡市美術館開館記念「近代アジアの美術—インド・中国・日本—」(協賛)
- 1982(昭和57)年 ふくおか‘82大博覧会(福岡市営地下鉄開通記念)

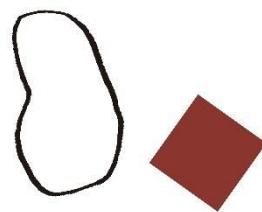
- 1990(平成2)年 西日本新聞イベントサービス設立
- 2017(平成29)年 西日本新聞社のイベント事業の全業務をイベントサービスへ一括委託

株式会社西日本新聞イベントサービス

- 1990年4月 株式会社 西日本新聞イベントサービス 設立
- 2006年4月 「博多町家ふるさと館」福岡観光コンベンションビューローと共同事業体にて
福岡市指定管理受託(2009(平成21)年終了)
- 2006年4月 「大濠公園能楽堂」福岡県指定管理受託
- 2017年4月 西日本新聞社の事業部門の全業務を一括受託
- 2017年4月 ウェブマガジン「ARTNE」開設
- 2019年2月 「福岡市美術館」PFI方式による運営管理受託(2034年3月まで)
- 2020年4月 創立30周年
- 2020年7月 時間制予約チケット販売システム「ARTNE TICKET ONLINE」開業
- 2023年1月 福岡大名ガーデンシティ広場管理運営開始

西日本新聞グループの公民連携事業

- 指定管理
 - ・大濠能楽堂（運営、広報、自主事業）（2006年～ ）
 - ・博多町家ふるさと館（運営、広報、利用者対応）（2006年～2009年）（2014年～23年）
 - ・久留米総合スポーツセンター（集客イベント）（2023年～ ）
 - ・春日市総合スポーツセンター（集客イベント）（2015年～2024年）
 - ・福岡市立城南・早良体育館（集客イベント）（2022年～ ）
 - ・城南・早良市民プール（集客イベント）（2026年～ ）予定
- PFI
 - ・福岡市科学館（開館時広報）（2019年）
 - ・福岡市美術館（広報、運営、利用者対応）（2019年～ ）
- その他
 - ・福岡市役所西側ふれあい広場 管理運営
 - ・旧大名小学校跡地活用事業
 - ・九州大学箱崎キャンパス跡地地区土地利用事業
 - ・福岡アジア美術館レジデンス事業コーディネーター業務（2022年～23年）
 - ・大野城心のふるさと館 特別展広報・関連イベント業務



福岡市美術館

**FUKUOKA
ART
MUSEUM**

福岡市美術館のリニューアル事業について

基本情報



福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL:092-714-6051 FAX:092-714-6071
<https://www.fukuoka-art-museum.jp>

【交通アクセス】

地下鉄大濠公園駅（福岡市美術館口）から徒歩約10分
地下鉄六本松駅から徒歩約10分

- ・敷地面積 25,906㎡（7,850坪）
- ・延床面積 14,526㎡（4,400坪）
- ・規模 地上2階建て（レンガ色のタイル外壁）
- ・建築設計 前川國男建築設計事務所
- ・改修設計 梓設計
- ・設計施工 戸田建設
- ・改修施工 大林組

昭和54年11月3日の開館以来入館者が2500万人を越える西日本屈指の美術館。平成28年9月からリニューアル工事のために約2年半休館し平成31年（2019年）3月21日にリニューアルオープン。前川國男の建築意匠を継承しつつより開かれた美術館へと生まれ変わった。

福岡市美術館の特徴

1. 福岡のセントラルパーク <大濠公園>という抜群のロケーション
2. 日本近代建築の巨匠、前川國男の設計による美術館
3. 幅広いジャンルのコレクション約16,000点、西日本屈指の美術館



福岡市美術館 リニューアル前の課題

「福岡市美術館リニューアル基本計画」(2012年発表)より

1 施設・設備の老朽化・機能低下

- ▶ 建築の防水機能や配管の経年劣化による雨漏りや漏水の発生
- ▶ 空調機能の低下や設備の老朽化，収蔵庫の狭小化による作品保存環境の悪化
- ▶ 展示室壁面の汚損 照明器具の老朽化などによる鑑賞環境の悪化

2 美術館利用に対する機能・体制が不十分

- ▶ バリアフリーへの対応不十分
- ▶ 市民ギャラリーのスペース不足
- ▶ 教育普及事業や，市民の創作活動のための付帯施設の機能不足，人的体制の不足

3 利便機能の魅力不足

- ▶ くつろぎスペース 休憩場所などの不足
- ▶ レストランやショップなど，美術館でより楽しく快適に過ごすための機能不足

4 広報・集客・誘導機能の弱さ

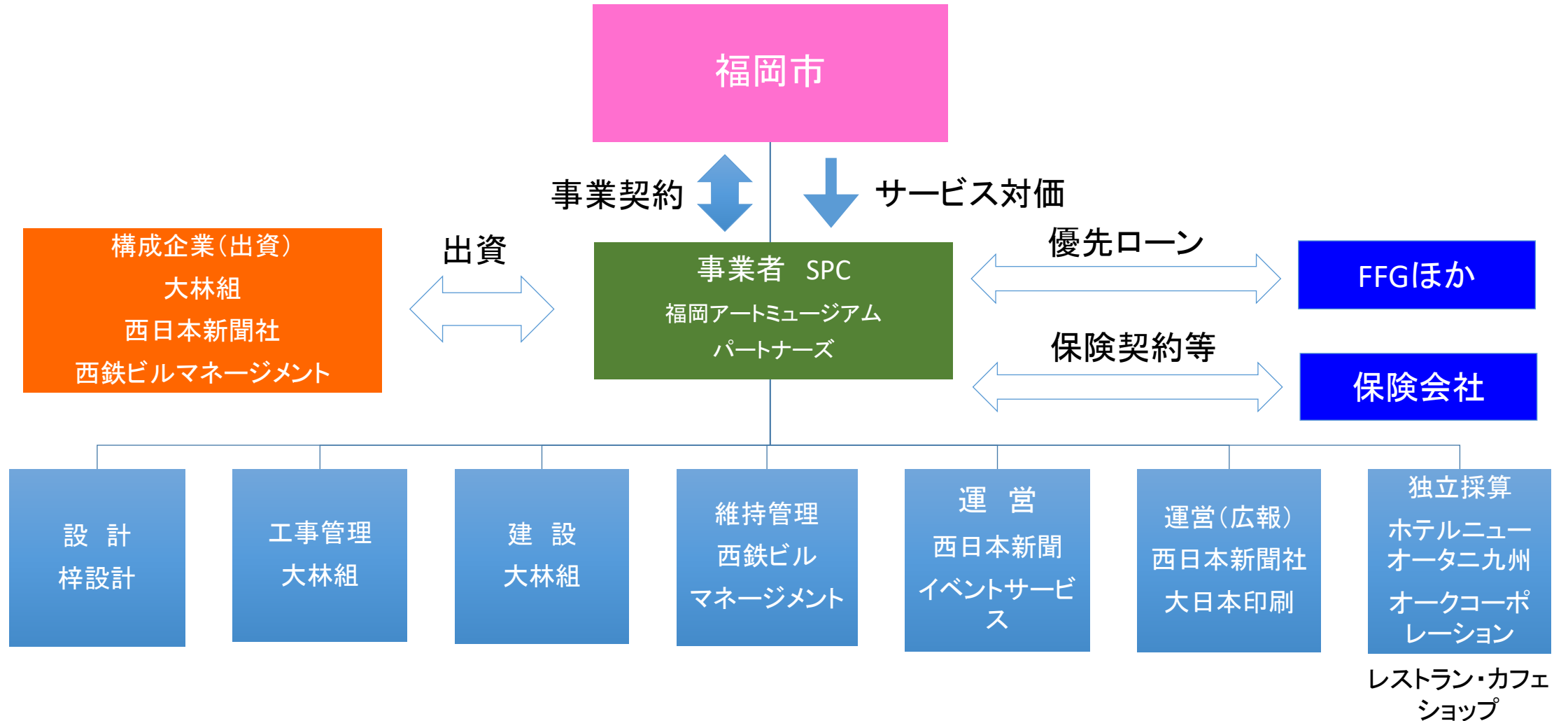
- ▶ 広報力不足
- ▶ 公園利用者への誘導力不足

「つなぐ，ひろがる美術館をめざして」

- 1 すぐれた建築意匠を後世に継承する
- 2 安全な収蔵環境，快適な展示環境を再生
- 3 市民の美術創造，発表，学習，交流機能の充足
- 4 利便施設の魅力向上
- 5 人々を誘う機能の強化

福岡市美術館のリニューアルプロジェクト

日本初のRO方式による美術館のPFI事業



西日本新聞社・西日本新聞イベントサービスの役割

1 利用者対応

- ・来館者の利便性を第一に
- ・展示室の鑑賞環境の保持
- ・貸出施設の稼働率向上

2 広報・プロモーション活動

- ・所蔵コレクション
- ・特別企画展
- ・美術以外の魅力(カフェ、レストラン、ミュージアムシップ)など

3 集客イベント

- ・コンサート・落語会、ワークショップ、屋外イベント などの開催
- ・協賛募集

4 福岡市との連携

西日本新聞社・西日本新聞イベントサービスの役割

1 利用者対応

1) 来館者の利便性を第一に

- ・1階、2階での総合受付案内
- ・外国人来館者への対応
- ・夜間開館や特別開館などへの対応 など

2) 展示室の鑑賞環境の保持

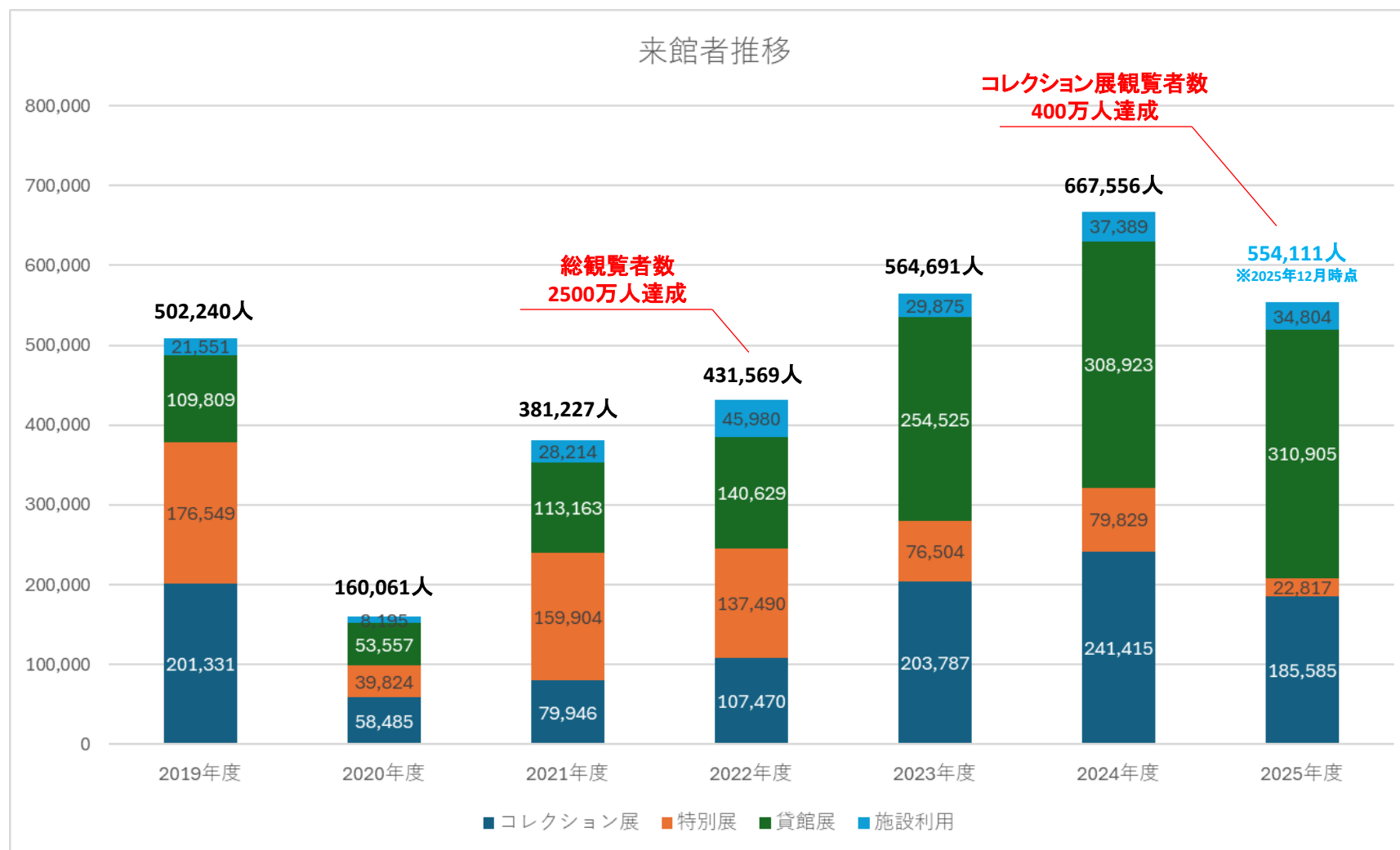
- ・観覧しやすい環境づくり
- ・監視スタッフの研修

3) 施設貸出

- ・ギャラリーの公平・公正な貸出
- ・ホールやスタジオなど貸出施設の稼働率向上

西日本新聞社・西日本新聞イベントサービスの役割

2 広報・プロモーション活動—来館者推移



西日本新聞社・西日本新聞イベントサービスの役割

3 集客イベントーこれまでの開催実績

■ 2019年度～2024年度までの実績

開催件数：39件

来場人数：21,458人

年度	主なイベント
2019	フラメンコスペシャルライブinミュージアム
	千年夜市inナイトミュージアム
	万能グローブガラパゴスダイナモス
2020	FAMシネマテーク
	ソーゾーシーJAPAN TOUR
	国分弘子のPiano Party
	福岡県立城南高等学校 和太鼓部
	九州交響楽団 弦楽四重奏コンサート
2021	桂春蝶独演会
	奥村愛の親子で遊ぼう「はじめてのクラシック」
	花とピアノの饗宴
2022	夏休みマスターロード博多人形絵付け体験
	ワークショップ “リソグラフ”のプリント体験～
	千年夜市 特別編ー福岡市美術館 春まつりー
2023	立川生志落語会
	WORK SHOP 花火作り
	レガシーピアノ収蔵記念 「親子で楽しむクリスマスコンサート」
	レガシーピアノ収蔵記念 「国府弘子プレミアム・コンサート」
2024	「美術館の秋祭り」
	「絵本とピアノのウィンター・ワンダーランド Happy Christmas Time!」

西日本新聞社・西日本新聞イベントサービスの役割

3 集客イベント（2025年度）

開催日	カテゴリー	イベント名
2025年8月3日	落語	桂春蝶 落語会
2025年10月5日	WS	美術館でワークショップ 「リトルダンボール迷路をつくろう！」
2025年11月23日	ピアノ	「レガシーピアノ」一般開放
2025年12月13日	コンサート	福岡市美術館が贈る親子で楽しむクリスマスコンサート Happy Christmas Time!
2026年1月10日	コンサート	ジャズを聴きたくて New Year's Special Live 塩谷 哲の世界
2026年2月10日～15日(予定)	舞台	万能グローブガラパゴスダイナモス 20周年記念公演 第34回公演「西のメリーゴーランド」

